

1. 科目名 (単位数)	法学 (憲法) (2 単位)		3. 科目番号	GELA1317
2. 授業担当教員	鈴木 収		5. 開講学期	春期
4. 授業形態	講義 (質疑応答を含む) を主とするが、事例問題ではグループ討議、発表、検討を行う。講義はレジュメに沿って行うが、理解を助ける上で教科書を使用したり、必要な最新情報等を提供したりする。各自が要点を把握し、配布されたレジュメに筆記することが必要である。毎回の授業時間の末尾においてその日の授業内容に関する内容を記入し、提出する。			
6. 履修条件・他科目との関係	今後学ぶことが考えられる法律に関係する科目の基礎となるものである。この科目は、民法、行政法、教育法規等を学習するときの基礎知識となるものである。			
7. 講義概要	<p>本科目は、教育職員免許状を取得する際の基礎資格として必須科目である。また、公務員試験を受験する際の必要な科目ともなっている。</p> <p>公務員や教員だけに限らず社会人にとって、法について基礎知識を学び、身に付けることは仕事を進める上で大切なことである。また、一般の公務員や教員及び企業人の実践力は法に裏付けられたものでなければ、その役割を全うすることは困難である。</p> <p>そこで、本講義では法の作用や役割を学び、社会人として必要とされる法律の基礎知識を習得する。なお、習得の際には多くの具体的事例を通して学び、時にはグループディスカッションをしたりして理解を深めることにする。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法学 (憲法) の基礎知識を理解する。 2. 法学を学ぶには、条文や判例などを読むことは欠かせないものであるとの学習態度を身に付ける。 3. 法律的なものの考え方を理解し、仕事に就いたときに活かせるようにする。 4. 教員採用試験や公務員試験に出題される法規一般の問題に対応しうる法律知識を身に付ける。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【中間レポート課題】</p> <p>憲法 9 条について以下の内容について書きなさい。「①条文の解釈②9 条に関する日本政府見解の変遷について③9 条についての自分の意見」(A4 用紙)</p> <p>【期末レポート課題】</p> <p>日本国憲法に規定されている「基本的人権」の概要を書きなさい。あわせて、最近主張されている「新しい人権」を一つ選びその内容の説明とその新しい人権についてのあなたの考えを書きなさい。(A4用紙)</p>			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】伊藤 正己著『憲法入門 第四版補訂版』有斐閣双書、2006。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法一般の決まりや法規学習についての基礎知識を身に付けることができたか。 2. 日本国憲法の基本原理と三権についての理解を深めることができたか。 3. 国家試験 (社会福祉士や精神保健福祉士) や公務員試験 (一般行政職、公立学校教員、公立保育所、警察官など) の受験の基礎となる科目である。試験合格に対応できる力を身に付けることができたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への取り組み状況 (授業態度、発言、発表など) 40%</p> <p>レポートや理解度テストの結果 60%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>憲法の勉強は一見難しそうだが、何といっても日本の基本となる決まりだからしっかり勉強すること。条文を繰り返し読んで、内容の理解に努めること。</p> <p>また、教室内での学習中のマナーを守り、併せて必要な自宅学習にも積極的に取り組むこと。</p>			
13. オフィスアワー	講義の中で、周知するが、研究室に在室中はいつでも受け付ける。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	憲法とは何か (教科書 pp. 1~17)	事前学習	日本国憲法の特徴は何か確認しておく。	
		事後学習	憲法について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。	
第 2 回	明治憲法の特徴について (教科書 pp. 18~28)	事前学習	明治憲法の特徴を調べる。	
		事後学習	明治憲法について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。	
第 3 回	日本国憲法の成立について (教科書 pp. 29~38)	事前学習	日本国憲法成立の改定を調べる。	
		事後学習	日本国憲法の成立過程について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。	
第 4 回	国民主権について (国民主権と選挙) (教科書 pp. 54~77)	事前学習	国民主権と選挙に行かない多くの人についての関係を考える。	
		事後学習	国民主権について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。	
第 5 回	国民主権について (象徴天皇制と地方自治) (教科書 pp. 78~103)	事前学習	天皇制の意味を考える。	
		事後学習	象徴天皇制についての理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。	

第6回	平和国家について (教科書 pp. 104～115)	事前学習	国際社会の現状と我が国の平和主義について考える。
		事後学習	憲法九条について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第7回	基本的人権の保障について (人権尊重の原理) (教科書 pp. 116～130)	事前学習	我が国の基本的人権の基本的な考え方をまとめる。
		事後学習	人権尊重の原理について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第8回	基本的人権の保障について (人権の体系) (教科書 pp. 131～146)	事前学習	人権の保障についてどんな課題があるか調べる。
		事後学習	人権の体系について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第9回	基本的人権の保障について (自由権) (教科書 pp. 147～174)	事前学習	自由権の内容を確認する。
		事後学習	自由権について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第10回	基本的人権の保障について (社会権) (教科書 pp. 175～184)	事前学習	社会権の内容を確認する。
		事後学習	社会権について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第11回	権力分立について (国会①) 国会の地位と性格、両院制、国会議員の地位について (教科書 pp. 185～196)	事前学習	国会議員と地方議会議員の役割の違いを考える。
		事後学習	国会議員の役割について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第12回	権力分立について (国会②) 国会の会期、国会の議事、国会と財政、議院の権能について (教科書 pp. 196～224)	事前学習	内閣の役割を確認する。
		事後学習	内閣の役割についての理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第13回	権力分立について (内閣) (教科書 pp. 212～224)	事前学習	裁判所の役割を確認する。
		事後学習	三審制について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第14回	権力分立について (裁判所) (教科書 pp. 225～236)	事前学習	憲法改正の仕組みと改正への賛否の考え方を調べる。
		事後学習	憲法改正の方法について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。
第15回	平和の願いと日本国憲法について	事前学習	平和を維持するために必要なことは何か考える。
		事後学習	日本国憲法全体について理解、発見、感じたことをまとめ、本時の学習ポイントを整理する。